

MONOBE TIMES

教育目標
○心情豊かな人
○自ら学ぶ人
○勤労を尊ぶ人
○よく考えて行動する人
○国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838
Tel 0285-75-0008
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monoijhsc/>
ホームページで学校の様子を紹介しています
ぜひご覧ください



真岡市立物部中学校
学校だより
令和3年度 第6号
令和3年 10月発行

校長室から

「読書の秋」 ～家読のすすめ～

校長 石田 利雄

朝夕の肌寒さから、日一日と秋の深まりが感じられるようになりました。10月15日・16日・17日（23日に延期）のPTA奉仕活動では、たいへんお世話になりました。皆様のご協力により、整備された環境の中で、生徒たちが伸び伸びと学校生活を送れることを嬉しく思います。

10月23日（土）には、運動会と桜町祭を合体させた桜乱祭（おうらんさい）が開催されます。スローガン『前進』～いまだからできること～を掲げ、生徒一人一人が役割を自覚し活動している姿、合唱コンクールに向けて学級が一つとなり、コロナ対策をしっかりと取りながら、校内に響きわたる歌声を聞くと桜乱祭が楽しみです。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者等の入場を、一家庭につき、お二人とさせていただきます。地域の方々を含め、行事を楽しみにしていた多くの皆様方には大変申し訳なく思いますが、生徒の健康・安全を最優先した結果ですので、ご理解いただきたいと思っております。

さて、10月は『スポーツの秋』、『芸術の秋』など様々な言葉が当てられています。『読書の秋』について話をさせていただきます。

2020年に実施した本県の読書活動に関する実態調査の結果から話をします。小学校20校の5年生691名、中学校20校の2年生706名、高等学校20校の2年生2208名の児童・生徒を対象にしたものです。

まず、「1か月の平均の読書量（まんがや雑誌を除く）」について、小学生6.97冊、中学生3.46冊、高校生1.63冊の結果が出ました。学齢が上がるにつれて、不読者が多くなっています。1か月0冊は、高校生の約5割の生徒に見られています。

次に、「本を読まない理由」について、中学生だけで見ると、1位が「テレビ・DVD・動画（YouTubeなど）を見るのに時間を使う」、2位は「ゲーム（家庭用ゲーム機・スマートフォン等）に時間を使う」、3位「特に読みたい本がない」との結果が出ました。理由3位の結果を踏まえ、生徒たちに10月の校長講話で読書の必要性について話をしました。1つ目は、読書をする事で、読解力や創造力、思考力、表現力等が養われる。2つ目は、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができる。3つ目は、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心や真理を求める態度が培われる。そして、最も大切なことは、感受性が豊かな中学時代や高校時代にしか得られない感動、深い気付きがあることを話しました。講話後、生徒からアンケートをしたところ、大半の生徒が読書の必要性、大切さが解ったと答えていました。

最後に『家読（うちどく）』について説明いたします。この言葉をご存知でしょうか。読書活動に関する実態調査の質問にもあったものです。知っているという回答した小学生は5割、中学生3割、高校生2割でした。この活動は、特に小学生期に多く取り組まれ、学齢が上がるにつれて取組が減少し、認知度も下がっているのではないかと思います。

家読（うちどく）のすすめ

- ・ 家族や身近な人と同じ本を読む
- ・ 家読の日、時間を決めてみんなで読む
- ・ 読んだ本の感想をみんなで話し合う
- ・ 自分のおすすめの本を教えてあげる
- ・ 家族や身近な人に本を読んであげる

『家読（うちどく）』は、読書習慣を共有することでコミュニケーションを図り、家族の絆を強める取組でもあります。ぜひ、ご家庭でも実施してはどうでしょうか。

※ 裏面に続きます

◆◆ 桜乱祭第1回係打合せ ◆◆



みんなで知恵を出し合いながらの係打合せ

◆◆ PTA奉仕活動【10月15日(金)16日(土)】 ◆◆



小雨の中、刈払い機や手作業での除草作業

落ち葉掃きと回収作業

猪野PTA会長さんのあいさつ
奉仕作業へのご協力ありがとうございました。

※17日(日)の奉仕作業は23日(土)15:20頃に延期です。

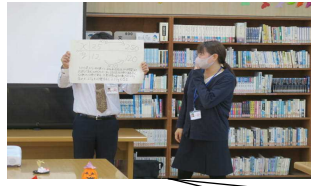
◆◆ 読み聞かせ ◆◆



読み聞かせボランティアの皆さん
毎回、朝早くから読み聞かせありがとうございます。

◆◆ 教職員の研修会【10月14日(木)】 ◆◆

1年生数学の研究授業「問題を解く過程を説明する生徒！」



「生徒の学力向上を目指して！」
本校生徒の課題の一つである「自分の考えを文章で記述する力の育成」を図るため、真岡市教育委員会から講師を招き、教職員の指導力の向上を図る研修を行いました。これからも研修を重ね、生徒の学力向上に繋がられる授業の改善に努めていきたいと考えています。